

商店街活性化協議スタート。
産官学で力を合わせ、高田馬場を元気に！



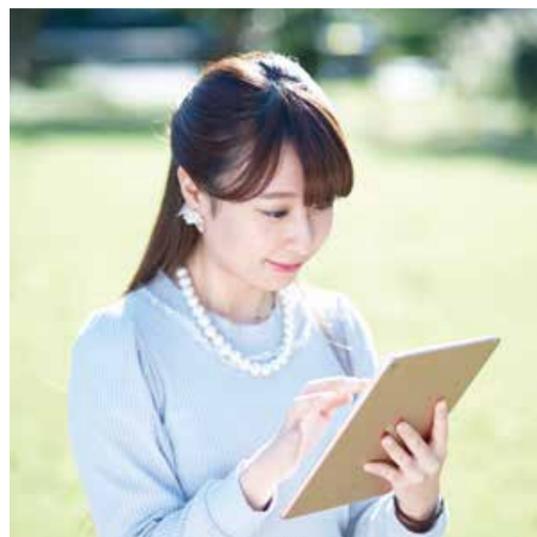
高田馬場宮田商店会、さかえ通り商店会、新宿区（産業振興課）及び東京富士大学は、平成 29 年 4 月 25 日（火）、商店街活性化に向けた第一回目の四者協議を行いました。

地元商店会、大学、新宿区が連携する「商店街地域資源活用連携事業」が今年度スタートすることを受け、今後の連携の方向について四者の意思確認を行いました。

初回から議論が活発に行われ、予定時間を大幅に超過して議論は深められました。今後、具体的に事業内容が擦り合わされるとともに、具体的な事業計画に向けて連携を深める予定です。

東京富士大学は 70 年余の経営学教育の知見を地域に還元し、地域活性化に寄与していく所存です。今後の進捗につきましては、大学の公式ホームページ、Facebook などを通じて広報してまいります。ご期待下さい。

進化する東京富士大学の E ラーニング
学生自身が理解度を把握。自ら学修を管理できる仕組みに



東京富士大学は学生の学びを支援すべく、E ラーニングの拡充に力を入れてきました。大学での学修は授業だけで身に付くものではありません。学びを定着させる予習・復習のためのツールとして、入学者全員に iPad を配布してきました。

2017 年度は E ラーニングが大幅に進化。新たな学修支援システム「Course Power」(CP) が導入されました。教材の多くがオンラインで配信され、予習・復習・宿題が iPad 一つで完結する授業も増えました。「授業中はちょっと質問しづらい…」という学生でも、CP を通じて気軽に教員に質問できます。

また、授業中に学生の理解度をリアルタイムに測定する「クリッカー」も試験的に導入されています。教員は学生の理解度に合わせて、柔軟に授業内容を工夫することが可能になりました。

進化し続ける東京富士大学の E ラーニングにご期待下さい！

「新宿 DASH」好評オンエア中

日本テレビ系列の人気番組「ザ！鉄腕！DASH！！」内の新コーナー「新宿 DASH」。「人間と生物が共存できる近未来都市をつくる」というコンセプトの新企画は本学の本館屋上をベース基地としています。大都会新宿を舞台に展開される共生の取り組みにご注目下さい（日本テレビ系列、日曜 19:00～）。



TFU × 地域活性化
本学学生が「中山間地域学生フォーラム」に参加

TFU × ソフトボール
学生ソフトボール界の頂点を目指し、躍進を続ける

【特集】 イベント・プロデュース学科の「今」



(写真左) 主将の深沢末花選手 (写真右) エースの千葉咲実選手

TFU×ソフトボール

東京富士大学には2つのスポーツ強化クラブがあり、共に日本の大学の頂点を目指し、日夜努力をしています。そこで今回は、女子ソフトボール部の活動についてご紹介します。

■急成長の女子ソフトボール部

東京富士大学の女子ソフトボール部は、2011年創部の比較的新しいクラブです。東京都大学連盟の三部リーグからスタートしましたが、充実した設備の整備と効果的な指導の成果もあり、一気に一部リーグまで駆け上がりました。関東インカレ三連覇、東日本インカレ優勝、熊野市長杯大学女子ソフトボール大会二年連続優勝など着実に結果を積み重ねてきました。

■総当たり戦は秋季から負けなし

4月～5月にかけて、東京都大学ソフトボール連盟主催の春季リーグ戦が行われました。リーグ戦(1部)はまず6つの大学(日本体育大学、東京女子体育大学、日本女子体育大学、早稲田大学、国士舘大学、東京富士大学)が総当たり戦を行い、その後順位決定戦を行います。東京富士大学は昨年度の秋季リーグも、今年度の春季リーグも全勝で総当たり戦を通過。順位決定戦に臨みました。

昨年度の秋季リーグは順位決定戦で土がつき2位に、雪辱を期した春季リーグも残念ながら3位に終わりました。しかし、今回のリーグ戦の結果に基づきインカレの出場権を得ましたので、全国の舞台でこの雪辱を果たしてくれることでしょう。

■より良い結果を目指して

ソフトボールが2020年東京オリンピックの大会正式種目に決定したことで、部員たちのモチベーションはさらに上がっています。4月に新入生7名が加わり、現在部員数は31名。キャプテン深沢選手、エース千葉選手を中心に、より良い結果を目指して練習に励んでいます。今年度も女子ソフトボール部の動きに目が離せません。

ひとつのことに集中して、勝利という結果を出すために最大限の努力をし続ける姿勢は、必ずや彼女たちの将来を豊かなものへと導くことでしょう。大学も一丸となって女子ソフトボール部を応援していきます。



プレゼンに参加した企業ビジネス研究同好会のメンバー

TFU×地域活性化

東京富士大学には魅力的なクラブがたくさんあります。今回は企業ビジネス研究同好会についてご紹介します。

■日野町魅力化プロジェクトに参画

鳥取県の日野町は少子高齢化により過疎化が進む町のひとつです。いかにして町を活性化するかは重要な課題です。そこで日野町の過疎地域からの脱却を目指すべく、日野町と都市部に在学する学生、そして地方大学の学生がコラボする日野町魅力化プロジェクトが誕生しました(参加大学は東京富士大学、鳥取大学、島根大学)。学生たちは4泊5日のホームステイで田舎暮らしを体験し、その後産業、観光、生活の3つの観点から日野町の活性化に繋げるビジネスプランを作成し、提案しました。

学生たちの提案は実際に町民の皆様の前でプレゼンテーションされました。産業チームはインターネット環境の整備やSNSを通じた日野町の魅力発信を提案しました。次に、観光チームからは日野町の休耕地を活用し、ひまわり迷路を作り、アクティビティで老若男女問わず楽しめる工夫を施すこと、ひまわりの黄色から金運を連想させ、日野町のパワースポットである「金持神社」にも関連させてPRすることが提案されました。最後に、生活チームからは自然豊かな川や山に囲まれて遊ぶことで子供の想像力を高めるのに適した魅力的な子育て環境が提案されました。

これらの提案のうちインターネットの環境整備については予算設定がなされ、ひまわり迷路は2017年に実施が決定しました。さらに、この活動が評価され、本クラブは、鳥取県主催の学生フォーラムに招聘されプレゼンの機会が与えられました。

■「新しい価値観」の扉が開かれる

参加した学生の一人は、「いつもの日常では見られない貴重な体験、非日常において『人』としての新しい価値観が培われ、今後の人生において貴重な体験となった」と話します。クラブ顧問の黒田秀雄先生(元本学教授)は「東京や大都市を支える日本の地方についても学び、体験し、企業や業界についての知識を獲得すると同時に、その知識をアウトプットしていく事で自己の確立を目指して欲しい」と語ります。



1期生の近藤さん(左)はシミズオクトに、伊藤さん(右)はセルリアンタワー東急ホテルに就職

EP 学科 1 期生が旅立ちました!

平成29年3月20日(月)、東京富士大学学位記授与式が行われ、イベントプロデュース学科1期生37名が巣立ちの日を迎えました。

■しばらくの別れと、またの再会の約束

当日は、穏やかな春の陽気となり、卒業生の満面の笑みと華やかな卒業衣装を一層晴れやかなものにしていました。東京富士大学の学位記授与式では、卒業生ひとりひとりの名前が読み上げられ、壇上にて卒業証書を直接手渡しされます。若干、緊張の面持ちの卒業生でしたが、名前を読み上げられると大きな声で返事をし、しっかりとした足取りで証書を受け取る姿がありました。また、大学生生活全般で輝かしい成果を上げた卒業生へ、それぞれ高田賞、学長賞、二上賞、課外活動賞などの各種表彰なども行われ、多くのイベントプロデュース学科生も名を連ねました。

学位授与式後に京王プラザホテルで行われた卒業記念パーティでは、恩師や仲間と語り合う機会がありました。「会えなくなってしまうのが寂しい!」、「社会人になっても連絡とろうねー」などなど、しばらくの別れを惜しむとともに、またの再会を約束する姿が印象的でした。

■イベントプロデュース学科 1期生として…

イベントプロデュース学科が立ち上がり初めての年に入学した彼ら・彼女ら。日本で初めてイベントを学べる、これまでにない全く新しいユニークな学科の1期生として、大学におけるイベントの学びを、教員と一緒に試行錯誤を重ねイベントプロデュース学科を形づくってきてくれました。大学での学びと、現場での学びを交互に経験しながら、より高い実践力を身につけていきました。

卒業後はイベント業界の企画、運営、展示会制作をはじめ、ホテル、テレビ番組制作など様々な分野に旅立とうとしています。大学でのイベント学の学びを十二分に活かして、社会での活躍の場を拡げて行ってほしいと思います。そして、成長した姿をぜひ見せに来てほしいです。



昨年度のイベント実習の様子(「スポーツ雪合戦」のリハーサル)

! '17 年度イベント実習スタート!

東京富士大学イベントプロデュース学科では、年間120時間に及ぶイベント現場での実習体験を学生全員に課しています。大学の講義などを通じて学ぶ「知識」に併せて、実習を通じたイベント現場での体験や経験による「知恵」を身に付けさせ、「知識」と「知恵」の両輪によってイベントプロデュースの学びを展開しています。

■7社18名のイベントの専門家によるプレゼンテーション

4月15日(土)には、これからイベント実習に向かう2～3年生を対象に、実習の受け入れ先となるイベント会社・団体の皆様によるオリエンテーションが行われました。大人の謎解きイベントとして密かなブームとなっている「リアル宝探し」を全国で仕掛ける(株)タカラッシュ、人工雪を利用し雪合戦を夏でも楽しめるスポーツイベントとして展開している(株)ぶーにゃんコミュニケーション、コスプレイベントをきっかけとした地域活性を目指し街全体でコスプレが楽しめる回遊型コスプレイベントを実施している(株)ミネルバ、「裏方一筋」を社是として全国で開催されているイベント施工や制作運営などを手がける(株)シミズオクトなどなど、イベントプロデュース学科とお付き合いのある7社18名の皆様にお越しいただき、大変充実したオリエンテーションとなりました。

イベント現場の一線活躍する専門家によるプレゼンテーションはどれも印象的で、聞いている教員ですらワクワクしてしまうようなお話ばかりです。これからイベント現場を経験する学生にとって、非常に刺激を受けた時間になったのではないかと思います。

■現場だからこそ得られる学び

イベント実習は、イベント業界に足を踏み出す第一歩です。これまでもイベント実習で才能を見出されて、あるいは自分自身で見出して、将来や進路が決まっていた先輩達も沢山います。こうした先輩達の背中を追って、実習を通じて現場でしか学べない様々なことを理解し、得て、成長して欲しいと考えています。